

1 . 第 2 期計画策定の進捗報告

R3 第 1 回協議会 4/26 での主な意見

令和 3 年 4 月 26 日に開催された「宇治市歴史的風致維持向上協議会」において、2 期計画での課題として、1 期計画のハード事業を活かしたソフト事業、未指定文化財の保護、後継者の育成などの意見があげられました。

		
1 期計画のハード事業を活かしたソフト事業	未指定文化財の保護	後継者の育成

2 期計画の考え方

基本的に 1 期計画の事業を継続しつつ、1 期計画の成果である「お茶と宇治のまち歴史公園」などを活かしたソフト展開に軸を置きながら、2 期計画での課題（資料 3 参照）の解決に向けた事業を実施します。また、更なる歴史的風致の維持の向上を目指し、重点区域の拡大について検討します。

2 期策定のポイント

1 期総括を受けた事業

1 期計画で整備した施設を活かしたソフト事業の展開や、未指定文化財等の保護、伝統文化・技術等の保存・継承に向けた人材育成等を進めます。

1 期総括を受けた対応	事業イメージ
1 期計画のハード事業を活かしたソフト事業	<p><お茶と宇治のまち歴史公園運営事業>（新規事業）</p> <p>ミュージアム展示や様々な体験プログラムを始めイベントの開催や SNS 等を活用した情報発信などを行うとともに宇治茶の魅力を発信する観光拠点施設として、体験型の周遊観光を推進する。</p> <p>（具体例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミュージアム展示 ・体験プログラム ・周遊観光促進（#宇治まちあるき、宇治まちさんぽ）
未指定文化財の保護	<p><歴史的資源発掘推進事業>（継続事業）</p> <p>歴史的風致形成建造物の指定、市指定文化財の指定など、未指定文化財等の価値化を推進する。</p> <p>（具体例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名勝拡大 ・景観重要建造物指定 ・歴史的風致形成建造物 ・文化的景観指定
後継者の育成	<p><お茶と宇治のまち歴史公園運営事業>（新規事業）</p> <p>様々な体験プログラムなどの情報発信により、伝統産業等を知っていただくことで後継者育成につなげる。</p> <p><歴史・文化啓発事業>（継続事業）</p> <p>「宇治学」を活用した探求学習プログラムの取組を推進する。</p>

2期計画での重点区域の検討について

1期計画では中宇治地区及び白川地区周辺を重点区域とした事業展開を進めていますが、2期では、更なる風致維持の向上を目指し、新たな重点区域の追加を検討します。

検討地区	歴史的風致の要素	まちづくり等の動き
天ヶ瀬ダム周辺	1. 遊覧と参詣 宇治川河畔の歴史的風致	・名勝宇治山拡大 ・かわまちづくり
	名勝宇治山の拡大を目指すとともに、天ヶ瀬ダム周辺でのアクティビティは遊覧（川遊び）の現代版として、宇治川河畔の歴史的風致の向上にもつながるものであり、また、歴史公園から天ヶ瀬ダムまでの周遊が促進することにより、沿道の寺社仏閣への参詣にもつながると考えられ歴史的風致の維持向上に寄与する。	
萬福寺周辺 (松殿山荘・三室戸寺)	2. 茶どころ宇治の歴史的風致	萬福寺周辺地区での景観整備
	萬福寺周辺は現在すでに景観計画重点区域となっており、萬福寺については、重要文化財であり、煎茶道とも関わりが深く、宇治に茶の木を伝えたとされる駒蹄影茶園石碑があるなどお茶に深く関わっており、周辺の景観整備や情報発信により歴史的風致の維持向上に寄与する。 ただし、中宇治との交通手段など周辺の整備の具体性について課題がある	

第2期計画策定に向けたヒアリングについて（5月20日：国交省、10月14日：3省庁）

（市の方針）1期計画を引き続き進めるとともに、上記2地区を重点区域として拡大する方針で3省庁へ説明

（3省庁ヒアリングでの国の意見）

- ・天ヶ瀬ダム周辺及び黄檗山萬福寺周辺を重点区域として拡大するためには、50年以上前からの地域固有の活動があるという文献等の整理が必要

- ・拡大する重点区域に紐づいた事業の記述も必要となるが、現時点で具体的な2期の実施事業が記述できないと拡大は難しい

天ヶ瀬ダム周辺については、50年以上前からの地域固有の活動の範囲を根拠づける資料の整理が必要

萬福寺・松殿山荘については、活動が50年以上あることの根拠となる文献の整理や周辺で実施する事業の整理、所有者との調整が必要

- ・2期では、しっかり根拠を示した上で記載する必要がある



現時点で具体的な事業が記述できないのであれば、1期計画を延長（1～2年程度）し、熟度の高いものにすべきである

延長の手続きは「変更申請」となる